

2001年4月20日
主催(財)水野スポーツ振興会
共催(財)日本体育協会
(財)日本オリンピック委員会

「2000年度ミズノスポーツメントール賞」について

(財)水野スポーツ振興会では、(財)日本体育協会、(財)日本オリンピック委員会と共催で、1990年度より「ミズノスポーツメントール賞」を制定しています。この賞は、我が国の競技スポーツおよび地域スポーツにおいて選手の強化・育成ならびに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰するとともに、優秀な指導者の育成を目的に制定したものです。

3月8日、高輪プリンスホテルで2000年度受賞者選考委員会を開き、受賞者を決定いたしました。受賞者は以下の通りです。

【ミズノスポーツメントール賞 ゴールド】(トロフィー、副賞200万円)
櫻井孝次氏(財)日本陸上競技連盟理事他)

【ミズノスポーツメントール賞 シルバー】(トロフィー、副賞各50万円)
南喜陽氏(柔道JOC専任コーチ)
・尾裕子氏(京都府体協理事他)

【ミズノスポーツメントール賞】(トロフィー、副賞各20万円、うちスポーツ券10万円)
竹村吉昭氏(中央大学水泳部競泳コーチ)
五明みさ子氏(JOC新体操専任コーチ)
土方政和氏(レスリングナショナルチームコーチ)
湊昭策氏(秋田県医師会監事他)
大澤友博氏(茨城県レスリング協会副理事長)
安田憲正氏(石川県水泳連盟理事)
山根明氏(近畿アマチュアボクシング連盟会長)
一川治子氏(全日本なぎなた連盟理事)

詳細は別記の通りです。

(お問合せ先)

(財)水野スポーツ振興会	事務局	内橋	TEL.03(3233)7009
ミズノ広報室		小西・高橋	TEL.03(3233)7037
ミズノ大阪広報室		沢井・薬師寺	TEL.06(6614)8373

名 称 : 2000年度ミズノスポーツメントール賞

目的及び選考基準：過去継続して我が国における優秀選手の育成に務めた指導者およびその周辺の指導者、ならびに長年にわたり継続して地域スポーツの振興に尽力した指導者の顕彰

選考委員：委員長 八木 祐四郎 氏(JOC会長)
委員 笹原 正三 氏(JOC副会長、日本レスリング協会会長)
" 田中英寿 氏(JOC理事、表彰専門委員会委員長)
" 長沼 健 氏(日本体育協会副会長、日本サッカー協会名誉会長)
" 米澤 一 氏(日本体育協会常務理事、
日本ヨット協会副会長)
" 小林 徳太郎 氏(日本体育協会常務理事、
日本水泳連盟副会長)
" 水野 正人 氏(財団法人 水野スポーツ振興会会長
ミズノ社長)

※順不同

対象者：国内外を問わず我が国の競技スポーツの指導者および地域スポーツの指導者

受賞者及び

選考理由：**櫻井 孝次(さくらいこうじ) 氏 ((財)日本陸上競技連盟理事他) 65 歳**
高校在学中より跳躍種目の選手として国内外の各大会において好成績を収め、'56メルボルンオリンピック陸上競技三段跳びで第7位という成績をのこすとともに、'60ローマオリンピック、'64東京オリンピックにも連続出場する等、同種目の第一人者とし活躍。昭和62年に日本実業団陸上競技連合理事長、平成7年からは(財)日本陸上競技連盟オリンピック強化特別委員長に就任し選手強化に携わり、'96アトランタ、'00シドニー両オリンピックには監督としてナショナルチームを率い、指導にあたっている。アトランタ大会では女子マラソン有森裕子選手の銅メダル獲得を含む5種目での入賞、シドニー大会では女子マラソン高橋尚子選手の日本女子陸上界初の金メダル獲得を含む4種目入賞に導く等、ナショナルチームの競技力の向上に大きく貢献。これらの成績も同氏の競技実績に基づく永年の経験に裏打ちされたりリーダーシップに負うところが大きいものと評価される。(茨城県在住)

南 喜陽(みなみ よしはる) 氏(柔道JOC専任コーチ) 49 歳

高校在学中より国内の各大会で優秀な成績を収め、昭和48、49年には第8、9回世界選手権大会軽量級で連覇を達成。競技生活終了後は、新日鉄(株)広畑製鉄所柔道部監督として後進の指導にあたる。数々の実績のもと、平成元年にはJOC専任コーチに就任、男女の別なくナショナルチームの育成強化に参加、外国選手の戦術、戦法の分析・研究に携わり、ナショナルチームのコーチとして国内外を問わず数多くの国際大会に帯同、各選手への指導助言にあたっている。特に平成11年の世界選手権大会、昨年のシドニーオリンピック両大会での日本女子代表選手の活躍に大きく貢献している。同氏は、選手・コーチからの信頼も厚く、これから先も日本柔道界の中心的指導者のひとりとして活躍が期待されている。(東京都在住)

※指導している主な選手

榑崎教子 '99世界選手権大会女子52kg級 優勝/'00シドニーオリンピック女子52kg級 銀メダル

・尾 裕子(よしお ひろこ)氏(京都府体協理事他)57歳

昭和42年、成安女子短期大学の講師を皮切りに京都大学非常勤講師、同志社女子大学と京都芸術短期大学の講師を経て、現在、聖母女学院短期大学で体育を指導している。この間、成安女子短期大学にカヌー部を創部し、指導にあたりるとともに、同志社女子大学ではカヌー部コーチとしてカヌー選手の育成、指導にあたり多くのカヌー選手を育成した。また、地元和知町はもとより久美浜町、網野町、綾部市にカヌークラブを創設し、自ら指導にあたりカヌーの普及に多大な貢献をした。特に、久美浜町にある府立久美浜高等学校カヌー部の活躍はめざましく、昭和62年から世界ジュニア選手権大会等への代表派遣は7年連続で、全国でもトップクラスにあり、氏の指導力は高く評価されている。昭和57年から平成4年まで国民体育大会カヌー競技会の京都府カヌー選手団監督を務め、なかでも京都国民体育大会(昭和63年)で総監督として出場し、京都府チームの優勝に多大な貢献をした。(京都府在住)

竹村 吉昭(たけむら よしあき)氏(中央大学水泳部競泳コーチ)45歳

大学卒業後、JSS長岡入社、スイミングスクールのコーチとして幼少時から学生まで広範囲に及ぶ年齢層の選手を指導。シドニーオリンピック競泳女子100m背泳ぎで銀メダリストとなった中村真衣選手の素質、将来性を見抜き、小学6年生当時より重点指導を行う。中村選手は中学2年時には日本選手権女子100m背泳ぎで優勝し日本国内の頂点を極めるとともに、高校2年時にはアトランタオリンピックに出場し女子100m背泳ぎにおいて第4位入賞を果たしている。中村選手の世界のトップスイマーとしての活躍は同氏の指導に負うところが大きい。また、同氏は中村選手の中央大学進学と同時に同大水泳部コーチとして招かれ、中村選手の専任コーチの傍ら同部の指導に携わり、日本学生水泳選手権大会男子競泳総合7連覇の達成等に大きく貢献する等、若手指導者の第一人者として高い評価を受けている。(東京都在住)

※指導している主な選手

中村真衣 '00シドニーオリンピック 女子100m背泳ぎ 銀メダル 等

五明 みさ子(ごめいみさこ)氏(JOC新体操専任コーチ)52歳

大学卒業後、母校である東京女子体育大学の新体操部のコーチとして後進の指導に携わるとともに、昭和56年以降はナショナルチームのコーチとして各国際大会にも帯同、選手の指導にあたる。昨年のシドニーオリンピックでは、独創的な作品構成と音楽でチームを団体第5位に導いている。これも同氏のアイデア豊富な作品作りと熱心な指導に負うところが大きく、日本代表チームの競技力の向上に多大に貢献している。(東京都在住)

※指導している主な選手

山崎浩子 '84ロサンゼルスオリンピック 個人 8位 他

秋山エリカ '88ソウルオリンピック 個人 15位 他

日本代表チーム '00シドニーオリンピック 団体 5位

土方 政和(ひじかた まさかず)氏(レスリングナショナルチームコーチ)40歳

大学卒業後、警視庁に勤務し、'84ロサンゼルスオリンピックに出場、フリー68kg級で4位入賞を果たす。競技生活終了後、日本大学、警視庁のレスリング部コーチを務めるとともに、ナショナルチームのコーチにも就任し後進の指導に携わり、'52ヘルシンキオリンピックより続いているレスリング日本代表選手の連続メダル獲得に大きく貢献している。永年にわたるナショナルチームコーチとしての実績により昨年のシドニーオリンピックでは、警視庁に所属する永田克彦選手をマンツーマン体制による指導を通しグレコローマンスタイル69kg級銀メダル獲得に導く等、その卓越した指導力は高く評価される。(東京都在住)

※指導した主な選手

赤石光生 '92バルセロナオリンピック フリー68kg級 銅メダル 他
永田克彦 '00シドニーオリンピック グレコローマンスタイル69kg級 銀メダル

湊 昭策(みなと しょうさく)氏 (秋田県医師会監事他)58歳

昭和58年に秋田県体協スポーツ医・科学委員会委員に就任して以来、同委員会副委員長、スポーツドクター協議会代表幹事を歴任し、秋田県スポーツの医・科学のパイオニアとして、その充実に献身的に努力をした功績は極めて大きい。

特に、昭和60年スポーツドクターとなってからは、秋田県スポーツドクター協議会の結成に尽くすとともに、秋田県体協加盟10競技団体(ホッケー、体操、ウェイトリフティング、ソフトテニス、相撲、柔道、バドミントン、ラグビーフットボール、銃剣道、卓球)の顧問ドクターとして活躍する傍ら、スポーツ指導者養成の講師、秋田県体協理事、秋田県カーリング協会会長、秋田県スポーツ医学研究会副会長、秋田県スポーツ振興審議会委員などを務め、秋田県スポーツの普及と競技力向上に多大な貢献ををしてきている。

また、国体秋田県選手団帯同ドクターとして長年にわたり参加し、選手の健康管理はもとより外傷・傷害に対する治療を行うなど、競技者サイドに立ったスポーツ医・科学の推進に努めた。(秋田県在住)

大澤 友博(おおさわ ともひろ)氏 (茨城県レスリング協会副理事長)46歳

昭和54年茨城県立霞ヶ浦高校にレスリング部を創部し、自ら監督に就任、同校レスリング部を高校レスリング強豪校に育てた功績は、誠に顕著であると言っても過言でない。特に、同校レスリング部は創部以来、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)においては、11年連続14回優勝、全国高等学校選抜選手権大会では6年連続12回優勝を成し遂げたほか、関東高等学校レスリング選手権大会で6年連続17回優勝するとともに、関東高等学校選抜レスリング選手権大会では8年連続16回優勝する成績をあげ、茨城県レスリングはもとより茨城県スポーツの振興にも大きく貢献した。同校は数多くの優秀選手を育成、輩出してきているが、なかでもアトランタオリンピックにおいて見事銅メダル(3位)を獲得した太田拓弥選手は、氏が直接指導、育成した選手で、その指導力は我が国レスリング界から高く評価されている。(茨城県在住)

安田 憲正(やすだ のりまさ)氏 (石川県水泳連盟理事)53歳

高校時代は水泳(飛込)選手として活躍し、昭和40年8月の全国高等学校総合体育大会水泳競技会飛込飛込で優勝する。大学卒業後、甲府第2高校に奉職、以来、同校及び小松市立女子高校(平成8年小松市立高校に改称)で飛込を指導、数多くの優秀選手を育て、飛込み優秀校としてその名を全国に知らしめた。昭和51年、小・中・高校生を網羅した「小松ダイビングクラブ」を発足させ、指導に心血を注ぎ、昭和54年以降、同クラブは全国ジュニア・オリンピックで通算45回、全国中学校大会で16回優勝するとともに、小松市立女子高校(小松市立高校)は国体、高校、日本選手権大会等において数多く優勝者を輩出させた功績は誠に顕著であり、「飛込石川」は氏によって成し遂げられたと言っても過言でない。なかでも、数多くの優秀選手の中で、昭和63年ソウルで開催の第24回オリンピック競技大会日本代表飛込選手の浅田雅子選手(第10回アジア競技大会及び1986年世界選手権大会にも出場)は、

氏が直接、指導・育成した選手である。昭和54年以降、氏が指導したクラブ等は全国的規模大会で100回有余優勝している。(石川県在住)

山根 明(やまね あきら)氏 (近畿アマチュアボクシング連盟会長) 61歳

奈良県のアマチュアボクシングの創成期からボクシングの普及と組織の拡充に努めるとともに、選手の育成・強化に指導的立場で活動した。特に普及と競技力向上を図るため「チビッコボクシング教室」などの活動を通して地域に根ざした選手の発掘・育成に努め、奈良県全体のレベルアップに労を惜しまず尽力した。アマチュアボクシングの不毛の地と言われていた奈良県をボクシング王国の一つに育てた功績は大きい。特に全日本選手権8連勝、アトランタ(1996年)及びシドニー(2000年)オリンピック競技大会に連続出場した辻本和正選手は、同氏が育てた選手で、シドニーオリンピック競技大会には監督として参加し、指導を行った。近年、奈良県は同氏の指導で国体において2回優勝し、また全国高等学校総合体育大会ボクシング競技会でも優勝している。また、大阪商業大学ボクシング部ヘッドコーチ、大阪経済法科大学ボクシング部監督を務め、多くの選手を育成した。(大阪府在住)

一川 治子(いちかわ みちこ)氏 (全日本なぎなた連盟理事) 56歳

昭和46年熊本武道館なぎなた講師に就任して以来、今日まで生涯スポーツ、生涯武道の指導方針のもとに幼児から一般に至るまで一貫した選手の育成に努め、毎年、全国的規模の各種大会において優勝者又は上位入賞者を輩出している。

昭和50年から61年まで都道府県対抗なぎなた大会に熊本県代表選手として出場、特に昭和50年の第20回大会から昭和57年の第27回大会まで8連覇という偉業を成し遂げ、「なぎなた王国熊本」の礎を築き、今も自ら選手と共に、稽古に励み実践を通しての指導を行っており、その卓越した指導力、行動力は多くのなぎなた関係者が認めるところである。特に、なぎなた指導者として熊本県はもとより全日本なぎなた連盟でも高く評価されており、これまで都道府県対抗なぎなた大会で優勝11回、国民体育大会なぎなた競技会で優勝6回、全日本学生選手権大会で優勝3回・準優勝3回、全国高等学校総合体育大会なぎなた選手権大会の団体で2年連続2回優勝・準優勝3回、全国中学生なぎなた大会で優勝5回など、各種全国大会で優勝又は上位入賞の成績を収めている。また、第53回国民体育大会から第55回大会まで熊本県代表なぎなたチームは前人未到の総合優勝3連覇を達成させた。(熊本県在住)

スポーツメントール賞 過去の受賞者

●第1回('90年度)

ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド

- 金子 正子 氏(シンクロナイズド・スイミング)
- ミズノ スポーツメント ール賞 シルバー
- 長田 照正 氏(スピードスケート)
- 鈴木 昭 氏(山形県)
- ミズノ スポーツメント ール賞
- 菊池 淳二 氏(青森県)
- 石田 時郎 氏(バレーボール)
- 恩田 昌史 氏(ホッケー)
- 後藤 博志 氏(馬術)
- 西田 範次 氏(岩手県)
- 大槻 秧司 氏(京都府)
- 左海 伸夫 氏(和歌山県)
- 大村 一男 氏(大分県)
- 飯塚 十朗 氏(アーチェリー)

●第2回('91年度)

- ミズノ スポーツメント ール賞 ゴールド
- 宗 茂 氏(陸上)
- ミズノ スポーツメント ール賞 シルバー
- 鳥塚 奥見 氏(埼玉県)
- 上田 実 氏(バレーボール)
- ミズノ スポーツメント ール賞
- 上村 春樹 氏(柔道)
- 金戸 俊介 氏(飛込)
- 木林 博一 氏(ボウリング)
- 長沢 宏行 氏(ソフトボール)
- 尾谷 良行 氏(山梨県)
- 竹内 義雄 氏(体操)
- 戸館 福三郎氏(スキー)
- 津山 カッコ氏(京都府)
- 光田 緑 氏(愛媛県)

●第3回('92年度)

- ミズノ スポーツメント ール賞 ゴールド
- 青木 剛 氏(水泳)
- 早坂 毅代司氏・斉藤 智治氏(複合スキー)
- ミズノ スポーツメント ール賞 シルバー
- 横山 隆義 氏(鳥取県)
- 吉村 和郎 氏(柔道)
- ミズノ スポーツメント ール賞
- 木村 定光 氏(青森県)
- 竹内 良昭 氏(京都府)
- 楠 征洋 氏(奈良県)
- 梶谷 節夫 氏(島根県)
- 山里 将人 氏(沖縄県)
- 小出 義雄 氏(陸上)
- 菊間 卓 氏(バレーボール)
- 霜 礼次郎氏(ライフル射撃)

●第4回('93年度)

- ミズノ スポーツメント ール賞 ゴールド
垂水区団地スポーツ協会指導者グループ(代表 古田 菊夫氏)(兵庫 県)
- ミズノ スポーツメント ール賞 シルバー
鈴木 従道 氏(陸上)
斉藤 敏 氏(山形県)
- ミズノ スポーツメント ール賞
坂井 俊行 氏(スケート)
小嶺 忠敏 氏(サッカー)
中津 信雄 氏(スキー)
森田 淳悟 氏(バレーボール)
光国 彰 氏(テニス)
大関 堯 氏(青森県)
澤田 一夫 氏(奈良県)
木村 司 氏(大阪府)
広島 日出国氏(宮崎県)

●第5回('94年度)

- ミズノ スポーツメント ール賞 ゴールド
森 清吉 氏(テニス)
- ミズノ スポーツメント ール賞 シルバー
榎原 正宣 氏(大阪府)
佐藤 信夫 氏(スケート)
- ミズノ スポーツメント ール賞
金治 義昭 氏(ソフトテニス)
鳴子温泉スキー協会指導者群(代表 菅原 健一氏)(宮城県)
船原 静江 氏(なぎなた)
島立 登志和氏(山梨県)
津山 克典 氏(空手道)
内山 茂生 氏(京都府)
杉谷 昌保 氏(馬術)
渡部 正治 氏(愛媛県)
中村 祥吉 氏(ボウリング)

●第6回('95年度)

- ミズノ スポーツメント ール賞 ゴールド
小野 学 氏(スキー)
- ミズノ スポーツメント ール賞 シルバー
武田 正男 氏(兵庫県)
宮川 千秋 氏(陸上)
- ミズノ スポーツメント ール賞
石黒 建吉 氏(山梨県)
松澤 隆司 氏(サッカー)
松本 充雄 氏(長野県)
松山 和興 氏(ヨット)
安藤 勝廣 氏(愛知県)
西田 守 氏(バレーボール)

川本 末夫 氏(京都府)
石原 正己 氏(島根県)
ミズノ スポーツメント ール賞 特別賞
小西酒造硬式野球部指導者グループ(代表 榎本 敏秋 氏)(伊丹市)

●第7回('96年度)

ミズノ スポーツメント ール賞 ゴールド
山下 泰裕 氏(柔道)
ミズノ スポーツメント ール賞 シルバー
宮城 康次 氏(東京都)
上田 幸夫 氏(レスリング)
ミズノ スポーツメント ール賞
金 哲彦 氏(陸上競技)
鴻池 清司 氏(和歌山県)
坂井 利郎 氏(テニス)
重永 久隆 氏(クレー射撃)
瀧田 詔生 氏(千葉県)
戸田 三郎 氏(福井県)
西方 千春 氏(スキー)
福田 潤 氏(京都府)
野村 彦忠 氏(奈良県)

●第8回('97年度)

ミズノ スポーツメント ール賞 ゴールド
笠谷 昌生 氏(スキー)
ミズノ スポーツメント ール賞 シルバー
岡田 保雄 氏(和歌山県)
山口 彦則 氏(体操)
ミズノ スポーツメント ール賞
青木 成雄 氏(長野県)
井村 雅代 氏(水泳)
岩崎 清彦 氏(大阪府)
小桜 和裕 氏(島根県)
志波 芳則 氏(サッカー)
宗 猛 氏(陸上)
高須 金吾 氏(愛知県)
土佐 三夫 氏(滋賀県)
福本 修二 氏(剣道)
細川 伸二 氏(柔道)

●第9回('98年度)

ミズノ スポーツメント ール賞 ゴールド
石 幡 忠 雄 氏(スケート)
ミズノ スポーツメント ール賞 シルバー
宇佐美 義 光 氏(愛知県)
安 田 矩 明 氏(陸上競技)

ミズノ スポーツメントール賞

上野 広治 氏(水泳)
上村 義昌 氏(鹿児島県)
菅野 範弘 氏(スキー)
小島 一夫 氏(バドミントン)
小傳良 輝男 氏(滋賀県)
下田 正二郎 氏(山梨県)
塚原 光男 氏(体操競技)
東 美智子 氏(京都府)
袈 岩 秀勝 氏(大分県)

●第10回('99年度)

ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド

斉藤 仁 氏(柔道)

ミズノ スポーツメントール賞 シルバー

阿部 周次 氏(北海道)
高橋 雄介 氏(水泳)

ミズノ スポーツメントール賞

井上 敦雄 氏(東京都)
篠原 達夫 氏(山梨県)
魚住 一郎 氏(愛知県)
本郷 芳男 氏(京都府)
馬場 國義 氏(熊本県)
小浦 武志 氏(テニス)
平田 倫敏 氏(体操)
竹野 奉昭 氏(ハンドボール)
吉田 安夫 氏(卓球)